

議会だより

Vol.
236

ふじえだ市議会だより
令和7年11月号

藤枝北高校美術部が議場見学に来てくれました 関連記事11ページ



投票についてもっと学ぶ
機会が欲しい
若者の声を市政に届ける
仕組みを作ってほしい

話しやすい雰囲気良かった
このような場で意見を伝えら
れるのは貴重だと感じた



道側の自転車用通路の拡張
車とスレスレで通り危ない



トピック

- P 2..... 決算常任委員会審査報告
- P 4..... 9月議会議案審議結果
- P 5..... 一般質問
- P11 議場見学／議会意見交換会
- P12 常任委員会審査報告



藤枝市議会ホームページ

決算常任委員会

9月の定例月議会では、16日、17日、18日、22日、24日、の5日間で決算常任委員会を開催し、令和6年度一般会計歳入歳出決算及び病院事業会計決算を審査しました。

ここでは主な質疑の内容をお知らせします。

認第1号

「令和6年度 藤枝市一般会計歳入歳出決算の認定について」



事業評価書

市長へ令和6年度決算の「事業評価書」を提出し、市長から来年度の施策に反映していきたいとの前向きな回答がありました。同時に、常任委員会から「提言書」の提出も行いました。

問 原子力災害対策事業費について、令和6年度に実施した、本市の避難先となる埼玉県内の市町への訪問について、協議の進捗状況を伺う。

答 埼玉県内の全43市町に訪問し、避難経路所及び避難所の開設・運営マニュアルの説明を行った。そのうち、内容について4市町から検討をしたいとの申し出があったため、令和7年度に再度訪問をし、

同意を得たいと考えている。

問 デジタル活用サポート事業費について、令和6年度のデジタル支援員の活用実績を伺う。

答 令和5年度と比較し、48%減少した。令和5年度は、2万ポイントのマイナポイント付与手続き等で多くの利用があったが、その手続きが終了したことなどが影響したと考えている。

問 今後、デジタル活用サポートについてどう取り組むか伺う。

答 地区交流センターでの開催のみならず、各地区へ出向いた開催も検討し、活用実績を上げていく。



問 令和6年度開始の男性HPVワクチンとおたふくかぜワクチンの実施状況と評価はどうか伺う。

答 おたふくかぜワクチンは、3千円助成で接種率は77・2%と近隣市を上回り、反応は良好。男性HPVワクチンは8千円助成で接種者は7人と見込みを下回った。周知不足を反省し、今年度は中学2年生のがん検診教育との併用やLINEなど、啓発活動を強化している。

問 給食の公会計化による効果はどうか伺う。

答 給食会計を一般会計に計上することで、高騰食材の購入支援を含む給食に必要な経費の「透明化」と提供実態の「見える化」が図られた。これにより、食材高騰下でも必要な予算が明確になり、安定的な給食提供に大きな効果がある。

問 市シルバー人材センター事業助成費について、庭木の剪定など、要望が多いものについては依頼しても実施がかなり先になるという話を聞くと、どのように考えられているか伺う。

答 作業の依頼件数に対して労働力が応えられていないことが生じている。シルバー人材センターとして技能講習会を開催するなど、依頼に対応できるように努めている。

問 地域公共交通対策事業費について、自主運行バスなどの公共交通や、出かけつCARサービスなどを含めた移動支援施策について市の総合的な考え方を伺う。

答 中山間地域の自主運行バスは、小・中学生の通学の移動手段としての役割を果たしている。一方で、出かけつCARサービスは、高齢者の移動手

段の確保を目的とした移動支援サービスとして導入したものである。今後市民の「足」をしっかりと確保するために、バス路線などの公共交通と出かけつCARサービスをなどの移動支援サービスを連携させながら、各地区ごとに総合的な移動手段の確保が行われることが効果的であると考えている。

問 環境フェスタ開催事業費について環境フェスタとほかのイベントとの連携について伺う。

答 エシカル消費など、密接な関係がある消費者フェアや、てしやばストリートで出展を行うなど、相乗効果を高めるように努めている。

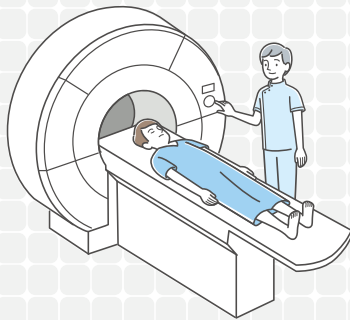


認第7号

「令和6年度 藤枝市病院事業会計決算の認定について」

問 高額機器の稼働状況と導入の効果について伺う。

答 更新されたAー搭載のMRI装置には画像がクリアになる機能があるため、検査に要する時間が短縮されており、効果としては、令和7年2月の導入以降9カ月で件数、金額とも前年比で約13%増えている。



問 抗がん剤注射薬調剤件数が増えているが、体制やどう取り組んだかについて伺う。

答 「外来化学療法センター」の運用開始により化学療法に力を入れていることで増加しているもので、がん拠点病院としての役割を果たしていると考えている。



決算常任委員会の様子

令和7年9月定例月議会の概要 日程:9月1日～10月2日(32日間)

令和7年9月定例月議会で審議した市長提出議案22件について、全議案とも原案どおり認定・可決・同意とされました。

市長提出議案(認第1号～9号、第57号議案～69号議案)

- 予算案件(令和6年度決算の認定) 9件
- 予算案件(令和7年度補正予算) 6件
- 条例案件 1件
- その他案件 3件
- 人事案件 3件



認第1号～第67号



第68号



第69号

※各議案については、市ホームページをご覧ください。

pick up!

◆「令和7年度藤枝市一般会計補正予算」(第3号)(第68号議案)

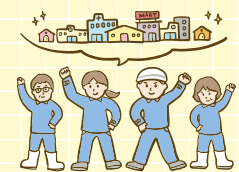
物価高騰対策のデジタルクーポン事業が好評で早期終了したため、第2回以降の予算を増額します。財源は国庫支出金等です。

※デジタルクーポン事業は9月27日で終了しました。



◆「令和7年度藤枝市一般会計補正予算」(第5号)(第69号議案)

先般の台風15号による災害復旧(道路、河川、農林施設、公共施設など)と、被災者への弔慰金・見舞金・住宅応急修理支援に充てられます。



人事案件

次の人事案件について同意としました。

- ◆第65号議案 公平委員会委員 藤村 啓太さん(五十海一)
- ◆第66号議案 固定資産評価審査委員会委員 杉本 直人さん(田沼三)
- ◆第67号議案 教育委員会委員 永田 奈央美さん(瀬戸新屋)

◆賛否の分かれた議案◆

会議日:令和7年10月2日(本会議最終日)

討論の内容は
こちらから



○賛成 ×反対 ※議長は採決には加われません。

議案番号	議員名(議席順)	さとう まりこ	寺田 亜記子	川島 美希子	池田 博	大石 心平	藪崎 正幸	山川 智己	深津 寧子	石井 通春	増田 克彦	八木 勝	神戸 好伸	多田 晃	油井 和行	山根 一登	平井 久仁雄	遠藤 久仁雄	岡村 好男	山本 信行	大石 保幸	植田 裕明
第63号	市有財産の取得について(教育用タブレット端末)	可決	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○



一般質問

9月定例月議会の一般質問は、
9月9日(火)、10日(水)、11日(木)
3日間にわたり行われました。

- 議員が市の一般事業に対して、執行状況や将来の方針をただしたり、政策的な提言を行います。質問は1議員50分以内です。
- 一般質問コーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。
- 市ホームページで議会録画映像の配信や「会議録の検索」により一般質問など本会議の詳しい内容も、ご覧になれます。



インターネット議会中継



会議録検索システム

藤枝MYFCの練習環境整備は、今後の方針は？
新たな専用練習場の整備は、トップチームの競技力向上と、子どもたちの育成やプロ選手との交流拠点として、賑わい創出の場となり多様な効果が期待できることから、候補地や規模などクラブの意向を確認しながら整備手法や支援方法について検討していきます。



ガンバレ！藤枝MYFC

藤枝MYFCの練習環境整備は、今後の方針は？
新たな専用練習場の整備は、トップチームの競技力向上と、子どもたちの育成やプロ選手との交流拠点として、賑わい創出の場となり多様な効果が期待できることから、候補地や規模などクラブの意向を確認しながら整備手法や支援方法について検討していきます。

実現可能な手法を検討していきます。

総合運動公園の滞在型拠点施設整備の進捗は？
施設整備は、民間活力の導入を前提に事業性確保のため、宿泊施設のみでなく店舗等も併設した複合施設も検討中である。昨今の、資材や労務費の高騰もあるため、引き続き民間事業者と実現可能な手法を検討していきます。

全国で高まるプロスポーツを核に、観光と文化産業を融合したまちづくりを推進し、MYFCのホームタウンの強みを活かし、誘客と周遊創出を図るまちづくりを進め、経済効果を高めま

す。

藤枝シティ・トレセン構想の進捗と
藤枝MYFC支援について



藤のまち未来
岡村 好男 議員



議員のひまわり
図書館司書の皆さんが、より働きやすい環境で勤務を続けられますよう、学校や教育委員会とも十分に話し合い、図書館経営に取り組んでいただけることを願っています。

「いつ、どこで、だれと」業務を行うかを、柔軟に選択できるよう、全体を統括するグループリーダーの位置づけを含め検討する。

夏季休業期間中などの勤務を、近隣の学校で共同で行うことについて伺う。また、図書館司書全体の活動を世話する立場のグループリーダーが必要と考えるが如何か伺う。

話題の本、話題の作家、季節ごとの掲示物などが整っており、まちのなかの書店に勝るとも劣らない内容であると考えている。

図書が工夫して作成した多くの掲示物により、図書館が明るく機能的になっているようだが如何か伺う。

令和2年度から、市内全ての小中学校に司書が一人一校配置となった。以前に比べより多くの児童生徒が授業で図書館を利用している。

学校図書館司書の働き方改革で、
より良い図書館経営を！



藤のまち未来
遠藤久仁雄 議員





藤のまち未来
寺田亜記子 議員



市民の命を守る住環境整備について

問 猛暑による熱中症や冬の寒さによるヒートショックへの対策をどう進めているか。

答 広報やSNS、薬局窓口での声かけ、民生委員や家族の見守り、保健講座参加者には予防対策のパンフレット等を配布し、市民への周知を強化している。

問 本年夏の熱中症患者数や昨冬のヒートショックの救急搬送数を伺う。

答 8月末までに熱中症で救急搬送された65歳以上の高齢者は33名、そのうち自宅が14件。ヒートショックは数値化が難しいが、要介護者の方にはケアマネジャー等が室温管理への助言を行っている。

問 断熱リフォームを健康施策としてどう位置づけるのか伺う。

答 第4期元気ふじえだ健やかプランに「住宅省エネ改修推進事業」を位置づけし、熱中症対策においても建築・環境部門や消防と連携し進めていく。

問 今後の取組みを伺う。

答 断熱は省エネに加え命と健康を守る施策。国交省などと連携し、シンポジウム開催も検討する。

議員のひとこと

市民の皆さんが安心して健やかに過ごし、いつまでも元気でいられるよう、住環境を整える取り組みをこれからも大切にしていきます。



日本共産党
さとうまりこ 議員



学校にエレベーターを

問 市内在住の難病の児童が、これから車いす生活になると診断を受けているが、学区の中学校にはエレベーターがない。

答 エレベーターを付けられないだろうが。

問 既存建物へのエレベーターの設置は義務付けられていないが、車いすごと昇降できる階段昇降車などで、階段の昇降に不便がないようにしていく。

答 階段昇降車では、介助者が必要になるが、移動に不便がない補助体制が可能か。

問 介助が必要な児童生徒には、特別支援教育支援員等を配置し、支援を行っている。



非正規公務員の待遇改善を 第三段

問 非正規公務員（会計年度任用職員）が働くときに最も不安を感じるのは、契約更新が2回3年限りで3年ごと、公募にかけられるという点。

答 この3年目公募、やめるべきではないか。

問 3年という原則は残すが、面接や能力実証で基準以上ならば公募による選考は不要とし、さらに3年間続けて働けるようにする。

議員のひとこと

学校のバリアフリーを進めて欲しい。



藤新会
大石 心平 議員



男性育休の取得率向上を目指して

問 本市の男性職員の育休取得率を伺う。

答 本年度は8月末現在で100%を達成。

問 意識調査の結果を得て実施してきた事は？

答 時短勤務・テレワークを導入。時差出勤を導入実施中。

問 人員不足への対応を伺う。

答 長期は復職職員や会計年度任用職員で補充、短期は業務分散で対応。現場からは「分散への限界や負担増」の声もあり、OB職員活用やフォローする職員への手当加算を検討。

問 民間企業への支援策を伺う。

答 独自奨励金制度、社労士派遣、成功事例紹介イベント、勉強会を実施予定。職場環境づくりを後押しし、男性育休取得率向上を目指す。

高齢者等訪問理美容サービスについて

問 訪問理美容サービスに対する補助について制度導入の可能性を伺う。

答 事業者の実態や利用者ニーズを踏まえ、対象範囲や制度の持続性、既存制度との整合性を整理。他市事例も参考にし、前向きに検討。

問 制度化の具体的スケジュールを伺う。

答 現状分析・課題整理を経て、外出困難な高齢者を対象とする想定。来年度の実施を目指し準備を進める方針。



無党派
山根 一 議員



公共下水道と生ごみ問題について

- 問 環境日本一を目指す本市では、高柳清掃工場での燃やすごみの内、生ごみが約半分であり平成二十八年十一月から下水汚泥から発生する消化ガス発電事業を行い年間約二千万円の収益があるが公共下水道の通っているエリアで生ごみを指定収集している町内会の数と、世帯数を伺う。
- 答 五十一町内会で約一万二千七百世帯である。
- 問 本市ではデイスポーズの補助金があるが見積金額が予想より大きく未決の時に、本市が指定業者に見積作成費用を支払うことは可能か伺う。
- 答 費用負担は考えていないが、業者への丁寧な説明と、無償である出張見積もりの周知を図る。

道路の工事状況と補修について

- 問 道路損傷通報の効果と今後の展開について。
- 答 市民から通報された補修は速やかに対応している。さらにGISを活用する道路等の維持管理業務システムの導入を検討し、地図上のデータ管理で安全確保とコスト削減につなげる。
- 問 城南下当間線における県道焼津藤枝線との交差点より東側の歩道設置を含めた道路改良工事について、工事が年々遅れているが今後の計画は。
- 答 当該路線の整備は国の社会資本整備総合交付金を活用して進めている。今後も確実な特定財源の確保に努めるとともに、補正予算が措置された際には積極的に活用し、着実に取り組む。

議員のひとこと

補助金は地域に出向き積極説明を



藤のまち未来
平井 登 議員



地域計画と目標地図で浮き彫りとなった問題点と今後の課題

- 問 本年3月に定められた地域計画と目標地図における全10地区の農地状況と今後の対策を伺う。
- 答 農業者の高齢化に伴う規模縮小と担い手不足により遊休農地が増加すると予測できるため、各地区の協議を継続して行い、担い手への集積をはじめ集落営農、新規就農者、農業法人の参入等の検討が必要である。
- 問 地域計画と目標地図における重点作物及び重点事業の推進について見解と計画を伺う。
- 答 ①海外需要が高い有機茶や碾茶への改植や被覆栽培への転換には、来年度から県と協賛助成を行う。また、基盤整備も県やJAと連携し若手生産者との協議を進めている。②オーガニックシティの取組は、農地パトロールで得た情報を活用し、緩衝帯となる道路や水路に囲まれる遊休農地などに農業法人を誘致するため、農地バンクと連携し農地所有者との合意形成を進めている。また、基盤整備を進めていくことで有機農業を地域ぐるみで規模拡大につなげていく。
- 問 未利用農地の活用策として新規就農者や若者世帯が住宅を建築できる制度運用を推進するべきと考えるがどうか。

議員のひとこと

集落維持のため青地でも遊休農地等であれば建築許可する制度改正が必要だ。



藤新会
山川 智己 議員



第2期藤枝市教育振興基本計画（後期計画）について

- 問 後期計画ではどのような取り組みを行うのか？
- 答 『架け橋期』と呼ばれる、就学前から入学後の2年間に於ける子どもたちの不安解消に向け、幼保こ小の連携を二層強化するとともに、誰一人取り残すことのない特別な支援教育体制のさらなる充実を図っていく。子どもたちを取り巻くデジタル技術への対応は、デジタルリテラシー教育の充実にも努めるほか、授業に生成AIの活用も検討し、時代に応じた新たなICT教育も取り入れていく。後期計画においても、一段階質の高い教育と学び続けられる環境づくりに取り組んでいく。

蓮華寺池公園の更なる魅力向上

- 問 観光資源として今後どのように活用していくか？
- 答 公園内の自然環境の適切な保全と更新を進め、魅力を感じていただけるイベントやアクティビティなども取り入れ、誰もが快適に利用し楽しめる公園づくりを行うため、民間投資の活用により貴重な本市の宝に磨きをかけていく。旧市街地のまちづくりを推進することで、蓮華寺池公園における観光拠点としての魅力と価値をさらに高め、経済圏を広げていく。

議員のひとこと

本市の宝である『子どもたち』と『蓮華寺池公園』をこれまで以上に大切に育み、明るい未来の藤枝市を市民全体で築き上げていきたいと思います。



藤のまち未来
川島美希子 議員



重症心身障がい児・者とご家族の支援

問 誠和藤枝病院の短期入所の現状は

答 利用者はまだ少数だが、病院スタッフが何度も通所施設を訪問し利用者理解を深めるとともに医療的技法の習得に努め、信頼関係を重視して受け入れを進めている。市も情報交換を行いながら寄り添った支援を続け、利用促進を図る。



誠和藤枝病院

問 リハビリ体制強化についての市の考えは

答 重症心身障害児者のリハビリの必要性は認識しており、専門職の人材確保の支援や研修機会の提供などを継続し、安心して必要なりハビリを受けられる環境づくりに努める。

問 志太榛原地域の入所施設不足への対応についてのお考えは

答 志太榛原地区には医療的ケアを必要とする重症心身障害児者の方が利用できる入所施設はなく、多くの方が遠方の施設を利用している状況である。国や県と連携し、重度の障害を抱える方が安心して暮らしていけるよう、地域に必要な支援体制の整備を目指す。

議員のひょうご

志太榛原地域での短期入所、入所施設が足りていないことは長期の課題でした。今後の藤枝市の支援強化と対策に期待します。



藤新会
油井 和行 議員



藤枝駅周辺の治安と景観の維持について

問 駅前通りは夜も多くの人通りがある。

答 客引き行為を規制する対策を講じる必要があると思うが、どうか伺う。

答 志太・榛原広域の玄関口でもある藤枝駅周辺では、再開発も進み賑わいが戻りつつある。一方で、乱闘事件や違法な客引き行為が発生し、逮捕者が出るなど、市民の安全安心な暮らしを脅かしていることは看過できない。

8月夜間に、警察や地域安全推進委員と一緒に駅北口の繁華街において、特別警戒活動を実施し、「客引き役」と思われる男性や路上駐車など市民の恐怖感や不安感につながる状況が見られ、これを解消する抜本的な対策の必要性を強く感じた。警察や関係機関と連携した活動をより強化し、本市の玄関口である駅前繁華街における治安の向上と健全な環境づくりへの効果が大きいと期待できる。客引き行為等を規制するための条例の制定を進める。併せて、県迷惑行為等防止条例における不当な客引き等を禁止する地域の指定について、県に強く要請していく。

問 客引き行為を規制する条例の制定・制定後を含めてどのように取り組むお考えか。

答 警察と連携した合同パトロールなど、抑止力のある対策を強力に進め、悪質なケースは迅速に警察の取締りにつなげる。駅周辺の一定の区域を「静岡県暴力団排除条例」に基づく「暴力団排除特別強化地域」に指定できるよう、県に強く働きかけていく。



日本共産党
石井 通春 議員



当初予算「スクラップ&ビルド」編成過程

問 中学生以下3人以上の子育て世帯「多子世帯子育て応援事業」は、延べ約1万5千人が利用しているが廃止の理由は。

答 児童手当や児童扶養手当が拡充し、支援水準の統一が図られた。

問 児童手当は1万5千円から3万円に、児童扶養手当も約480万の収入があれば支給されない多子世帯の一番の負担は年間150万かかる教育費の負担である。

答 今年度から多子世帯に対し大学授業料や入学金の一定無償化がなされた。総合的に判断。

県民市民不在のリニア

水問題の対話は完了していない。

問 6月、県とJRは「水問題の対話は完了した」「11年越しの大きなヤマは越えた」と発表し大きく報じられている。現状は、ボーリング調査すらできていない。県境の大断層に本坑はじめ5つの穴を掘る人類が経験した事のない難工事これからではないか。

答 対話完了という表現が水資源について、あたかも全ての課題が解決し、心配がなくなつたかのような誤解を生む恐れがある。表現は慎重に用いるべきと県に直接要請した。

問 今後工事を進めるに当たってのスケジュール表「リスク管理フロー」について合意しただけではないか。

答 リスク管理フローの整理は終わったが、実地での検証と必要な見直しは続けていく必要がある。



公明党
大石 保幸 議員



手話に関する施策の推進について

問 2月議会でも質問したが、条例を制定する自治体も増え「手話に関する施策の推進に関する法律」（略称：手話施策推進法）も成立したことから、市手話言語条例制定についての考えを伺う。

答 2月議会以降、関係団体等と協議検討を重ねてきた結果、条例の必要性も共有できたことから法律の制定を大きな契機と捉え、令和7年度中に市独自の条例制定を目指していく。



スポーツの成長産業化に関連して

問 国や県では「スポーツの成長産業化」を目指しているが、本市のスポーツを通じた交流人口拡大への取り組みについて伺う。

答 本市の強みであるサッカーを始めとして、バスケットボール、野球、剣道、スケートボード、eスポーツ等、多様な競技の大会開催や合宿の受け入れを進めており、台湾の高校生や県外の小学生なども訪れ交流している。来年2月には全国規模のeスポーツサッカー大会を開催するが継続的な交流人口拡大につなげていく。

議員のひとこと

今後、条例制定を契機に手話に親しむ方が増えてくれることを期待したいと思います。



藤のまち未来
八木 勝 議員



建設工事等における熱中症対策について

問 対応計画や記録紙の作成は小規模事業者に負担が大きい。市統一の様式を作成・配布すべきではないか。

答 施工計画書の記載例と併せ、対応計画や記録の様式も速やかに作成し、市ホームページから誰でも利用できるようにする。

問 費用の見直し（補正）について他都市のように現場管理費上乗せを試行するか？

答 国県は令和元年度から試行。本市も算出方法・上限・対象工事を参考に検討する。

問 工程の見直しについて夏季は実働75%を前提に夜間施工や対策を評価すべきでは？

答 猛暑日を不稼働日として算定。状況に応じ工期変更し、創意工夫は加点評価とする。

問 補助金の充実について農業者やボランティアへの支援拡充は？

答 藤枝市従業員労働環境改善事業費補助金で空調服等を助成。今後は見守りボランティアに新規制度、来年度に向けて農業者に対象追加を検討。

問 市所管業務での対策について職員や委託業務への支給状況は？また防災訓練は真夏開催で良いか？

答 空調服・塩タブレット等を配布。訓練は健康・安全を優先し、時期変更も含め調整する。

議員のひとこと

安心して働ける環境があつてこそ、市民生活の基盤が守られます。



無党派
池田 博 議員



藤枝市まちをきれいにする条例について

問 藤枝駅周辺を路上喫煙禁止指定をしてはどうか

答 藤枝駅周辺においては路上喫煙に関するマナー喚起や、喫煙防止シール貼付箇所の拡充などの注意喚起の掲示の充実を図っている。情報収集に努め、路上喫煙禁止地区の指定を検討。

問 藤枝駅北口にも喫煙所の設置をしてはどうか

答 健康増進法に基づく受動喫煙防止の観点を踏まえ、JRを含めた周辺の活用可能な場所への設置の可能性について検討を進めていく。

あいさつ運動日本一のまち藤枝について

問 令和5年度からあいさつ運動を強化するため、交通安全運動と一体的に「藤枝市見守り・あいさつ運動」を実施して以降の小中学校等、市内の状況について

答 自治会をはじめ関係団体を中心に市内全域にあいさつ運動が展開されていると捉えている。

問 毎月一日を市民の意識を高めるために、あいさつDAYにしてはどうか

答 年4回の運動期間の初日を「あいさつDAY」と位置づけ市全体の機運を高めていく。

問 小中学校の朝の会等の挨拶を曜日ごとに変え、日本語・英語・フランス語・ドイツ語・イタリア語として、国際感覚を身につけてはどうか

答 学校の朝の会のさまざまな言語による挨拶は意義のある取り組みと考える。





藤新会
植田 裕明 議員



国の動向と 地方行政（本市）への影響について

問 総務省「地方財政措置についての各府省への申し入れ」に対する本市の考えは

答 地方が厳しい状況を乗り越えるため、必要最低限の事項を示した。新年度予算編成において国の各種支援を積極的に活用して行く。

問 物価・人件費高騰により、医療機関の経営が全国的に悪化している。その影響を受けた本市立総合病院の令和6年度決算に対する考え方は

答 400床以上の高度医療や急性期病院の94%が赤字。当病院も診療収益は過去最高となったが、諸経費が上回り、15億円の赤字を計上した。高度医療を堅持しながら健全経営を確立できるよう総点検を行い、効率的な運営に取り組んで行く。

大規模災害への備えについて

問 マイ・タイムラインのさらなる普及を

答 水害からの逃げ遅れによる被災をなくすために有効。デジタル版マイ・タイムラインの活用と家庭内での共有を促す等、広く周知を図る。

問 わが家の地震対策3本柱のさらなる強化を

答 本年度から家具転倒防止器具取付サービスの固定台数制限を撤廃。申請件数・台数ともに増加している。3本柱に加え、感震ブレーカー設置を含めた啓発リーフレットの全戸配布を予定している。



藤新会
数崎 正幸 議員



本市における小工事・物品購入・随意契約に関する支払い遅延の是正について

問 本市が事業者に発注している小工事などの支払いが半年から1年以上の長期間支払われてない事例が多数あると各事業者から相談を受けている。こうした支払い遅延は、地方自治法施行令や契約約款に定められた「適正な履行・支払い義務」に反する可能性が高く、事業者にとっては資金繰りや経営の継続に深刻な影響を与える重大な問題である。是正を求め再発防止に努めていただきたい。実際に支払いが遅れている事例はあるのか？

答 現在だけでも105件8900万円の未払いがあった。また未払は複数の課にまたがっていた。

問 支払いの遅延は数年前から常態化している事が見受けられたが、通常の市から事業者への支払い期間はどのくらいか？

答 通常30日や40日以内で支払う決まりになっている。二度とこのようなことを起こさないよう仕組みを作り支払い遅延が起きないように約束する。

所内のデジタル化の進捗状況について

問 役所内のデジタル化・ペーパーレス化・脱ハンコは以前の一般質問で令和7年度から始めると答えてきたが現在の進捗状況は？

答 文書管理システムの導入は費用対効果の点で予算が取れずやれていない。今後早急に検討を進めていく。

議員のひとこと

支払いの遅延は絶対にあってはならない事。市は早くDXを進めて見える化するべきである。



藤のまち未来
増田 克彦 議員



こどもにやさしいまちづくりについて

問 こどもの権利などに関する「こども基本条例」の市民への周知・啓発について、これまでの取組と今後の展開について伺う。

答 ライフステージに応じた切れ目のない支援を柱とする「こども計画」を策定した。条例の周知では専門家を招いたセミナーや広報を実施し、今後も継続的に啓発を進める。

問 義務教育が始まる前後の期間「架け橋期」の円滑な接続に向けて、本年度より具体的に取り組んでいる架け橋プログラムの進捗状況と成果について伺う。

答 「ふしえたかけはしBOOK」を作成し、園と小学校の連携や接続力リキラムを充実させ、コーディネーターを配置して支援を強化している。

問 発達に課題のあるこどもへの支援について、具体的な取り組みについて伺う。

答 関係機関連携による校内支援や不登校児の居場所づくりを推進した。個別支援計画の共有や保育所でのインクルージョン、人材育成研修にも取り組んでいる。

問 「こども家庭センター」のこれまでの取組と評価について伺う。

答 全ての妊産婦・子育て世帯、こどもから若者まで切れ目のない一体的な相談支援体制の構築や本市の強みである教育等と連携した取組は全国的にも注目されており、支援を必要とされている方々に非常に有効運営できていると考える。



藤新会
深津 寧子 議員



(仮称)クリーンセンター整備と 付帯施設を含む周辺まちづくりについて

問 クリーンセンター本体工事の進捗状況について
答 工場棟の建築とプラント設備の据付工事を行っており、進捗率は8月末時点で51%であり計画どおり順調に進んでいる。

問 周辺道路整備の進捗状況について

答 クリーンセンターとのアクセス道路となる、市道仮宿高田線710mの区間において整備を進めており、進捗率81%。都市計画道路天王町仮宿線仮



宿工区400m区間において93%の進捗率。クリーンセンターの供用開始に合わせて整備を完了し、供用を開始していく。

問 確約書を交わした3町内会要望の進捗状況

答 それぞれの町内会の要望に対し、適正かつ着実に対応を進めている。整備が完了した施設もあり、道路整備や河川改修についても、継続的、計画的な推進を図っている。今後も進捗状況の報告を丁寧に行っていく。

問 付帯施設の進捗状況と今後の予定について

答 国土交通省と連携し、道の駅制度を活用した整備を行っていく。建設予定地の立地特性を活かし、防災拠点としての機能を備えた、いわゆる防災道の駅としての施設を検討している。本年度中に施設の内容について地域に説明し、十分な協議を行い、令和13年度早期の利用開始を目指す。

未来の主役が議場に！ 藤枝北高校美術部が見学

- ・ 令和7年7月25日(金)
- ・ 市役所5階 議場

生徒の皆さんからは、「普段入れない場所に入れて貴重な体験だった」「政治が身近に感じられた」といった感想が聞かれました。

若い世代の皆さんが、行政や政治に興味を持ち、未来のまちづくりについて考えるきっかけとなったなら幸いです。藤枝市議会は、今後も市民の皆さんに開かれた議会を目指し、活動してまいります。



中高生との意見交換・見学受け付けます

選挙管理委員会と投票率向上をテーマに議会意見交換会を開催！

- ・ 令和7年8月5日(火)
- ・ 市役所5階 第2委員会室

投票率向上をテーマにした議会意見交換会を開催しました。他自治体の取り組みや、投票率の推移データなどを参考にしながら、選挙管理委員と議員で自由に率直に意見を交わしました。各投票所の課題なども情報共有をしました。





委員会名	視察期間	視 察 先	内 容
議会運営委員会	令和7年7月23日～7月24日	岐阜県可児市	議会運営、地方議会評価モデルについて
		大阪府枚方市	議会運営について
総務委員会	令和7年7月29日～7月30日	埼玉県北本市	シティプロモーション推進の取組について
		埼玉県本庄市	
健康福祉教育委員会	令和7年7月29日～7月30日	鳥取県鳥取市	孤独・孤立対策について
		兵庫県明石市	①離婚前後のこどもの支援について ②不登校対策について
建設経済環境委員会	令和7年7月29日～7月30日	栃木県小山市	市街地再開発事業について
		新潟県長岡市	中心市街地活性化基本計画事業について

常任委員会審査レポート ピックアップ!

総務委員会

現地審査

市民ホール整備事業費について（岡部支所分館）

令和4年度に実施したアセットマネジメント調査により、早期の改修工事が必要と判断された設備のうち、令和6年度に更新を実施した受変電設備及び自家発電設備について、現地審査を実施しました。



健康福祉教育委員会

現地調査

空調設備整備事業（瀬戸谷小学校）

さらなる「快適で安心して学習できる環境」の向上を目指し、本年度から着手された小中学校の体育館への空調設備について現地調査しました。



建設経済環境委員会

現地調査

藤枝駅前一丁目9街区第一種市街地再開発事業について

土地の合理的かつ健全な高度利用により、良好な居住環境整備とともに、“街なか生活サービス拠点”の形成を目的としており、本事業の内容・進捗状況について現地調査しました。



11月市議会定例月議会

- 11月 25日 本会議1日目(☆)
議案上程等
- 12月 3日 本会議2日目(☆)
一般質問
- 4日 本会議3日目(☆)
一般質問
- 5日 本会議4日目(☆)
一般質問・議案質疑等

11月定例月議会は、11月25日から12月18日までの24日間で開かれる予定です。

- 8日 現地審査
- 9日 常任委員会①
- 10日 常任委員会②
- 18日 本会議5日目・採決等(☆)

本会議、委員会は予約なしで傍聴可能です。



藤枝市議会ホームページ

